

2017. 4. 25

防火技術者のあり方検討委員会(仮称) 委員募集

JAFPE 防火技術者制度も発足以来 4 年が経過し、登録者数も 61 名に達しました。各資格保有者は夫々の分野で活躍していることと推察されます。しかしながら最近の社会情勢(近年のグローバル化の動きに加え、日本における少子高齢化等による産業構造の変化等)を見ますと、従来の分野にとらわれない、多くの分野で JAFPE 防火技術の資格保有者が活躍できる分野があるように思われます。

これらの問題については、従来、当協会内のWGの一つである職能WGで議論をして参りましたが、誕生したばかりの防火技術者は社会的にどのように認知されるべきか、どのような知識を得て行かなければいけないのか、社会の変化とともに防火技術者に要求される技術も変化しているのではなど、様々な問題に取り組むためには現状の組織では不十分であると考えられます。

昨今の世界や日本の状況を考えますと、これらの課題に真剣に取り組む段階に来ているものと考えられることから、日本防火技術者協会では、防火技術者のあり方を検討するための委員会を組織し、協会としての将来の活動方針などを議論するとともに変化する社会への対応につなげたいと考えています。

については、防火技術者のあり方に関して問題意識を持つ方を広く募集し、議論を深めていきたいと思えます。

- ・ 募集人数：10 人程度
- ・ 期 間：2017 年度から 2 年間
- ・ 開催頻度：2 ヶ月に 1 度
- ・ 開催場所：東京理科大学(飯田橋)を予定
- ・ 審議事項と成果：
 - ①グローバル化への対応
 - ②防火技術者に対する教育制度
成果：教育内容とスケジュールの提示
 - ③消防法と建築基準法の狭間の問題を考える
成果：リスクの大きな世界でのアドバイザー(法規+α)の役割の明確化
- ・ 委員の募集期限：2017 年 6 月末

参加希望者は下記へメールをくださるようお願いいたします。

kuriokah@jfeii.or.jp 日本消防検定協会 栗岡 均 宛て

富松太基、栗岡 均

(以上)